

「新しい生活様式」実現こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2021
3班 DX社会実装分野

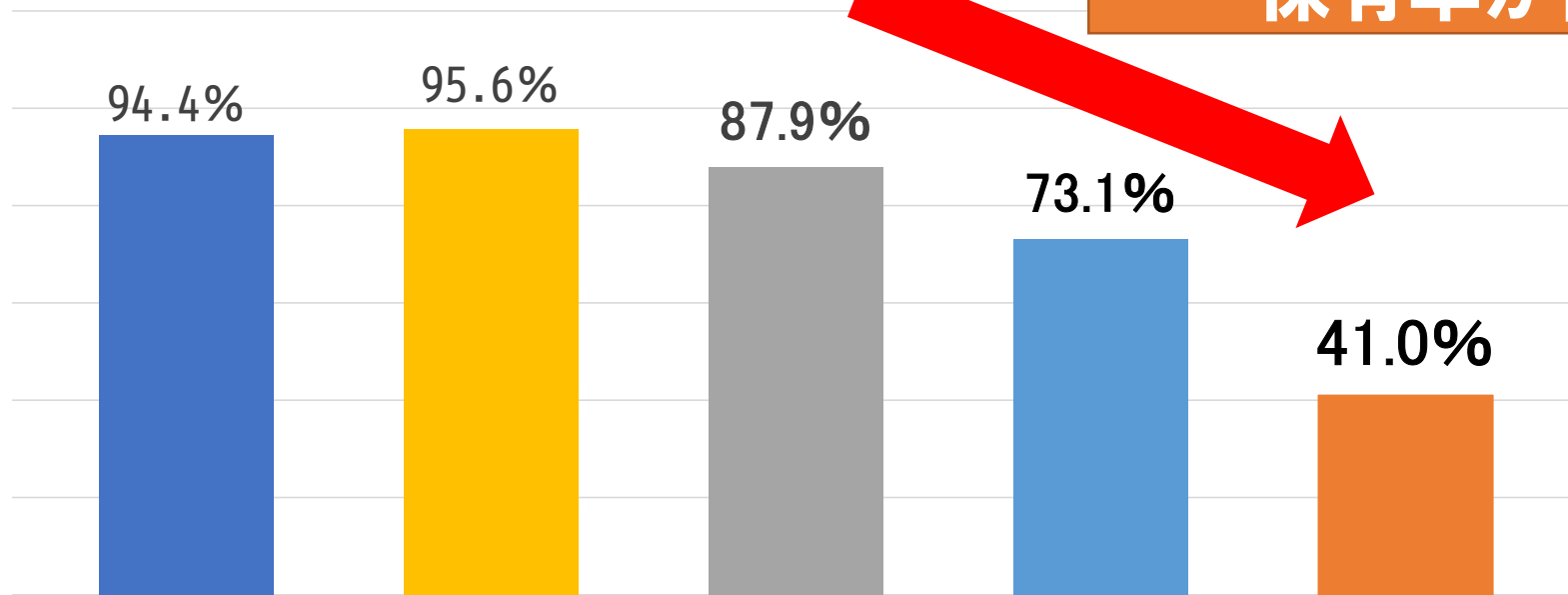
そうだ デジタル、しよう

～今だからこそできる革新～

【郡山市】 渡辺 皓亮
【須賀川市】 大和田 里歩
【田村市】 武者 明日香
【鏡石町】 川田 寛貴
【郡山国道事務所】 南雲 佳純

現状 1 年代別モバイル端末の保有状況

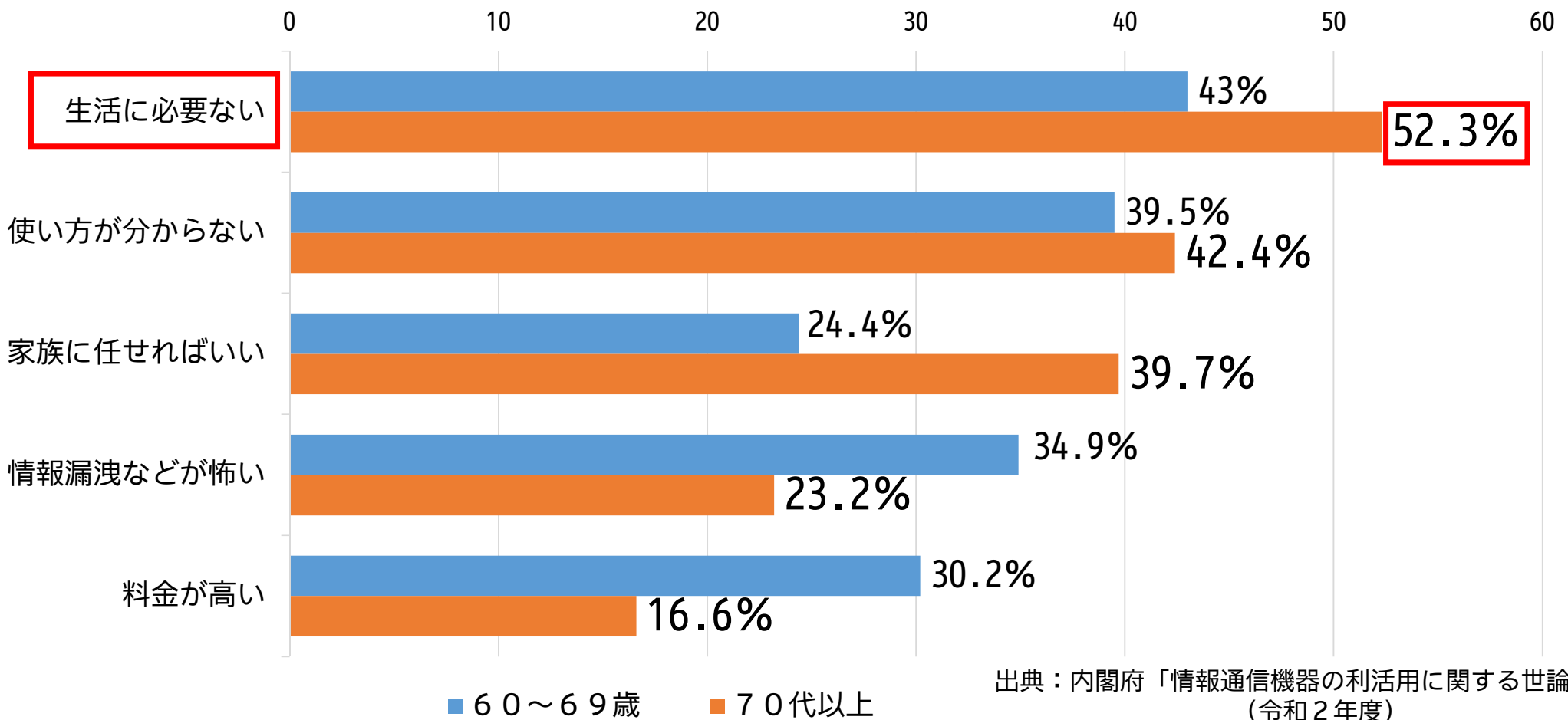
年齢があがるにつれ、保有率が低下



■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 60～69歳 ■ 70～79歳 ■ 80歳以上

出典：総務省（令和2年度）

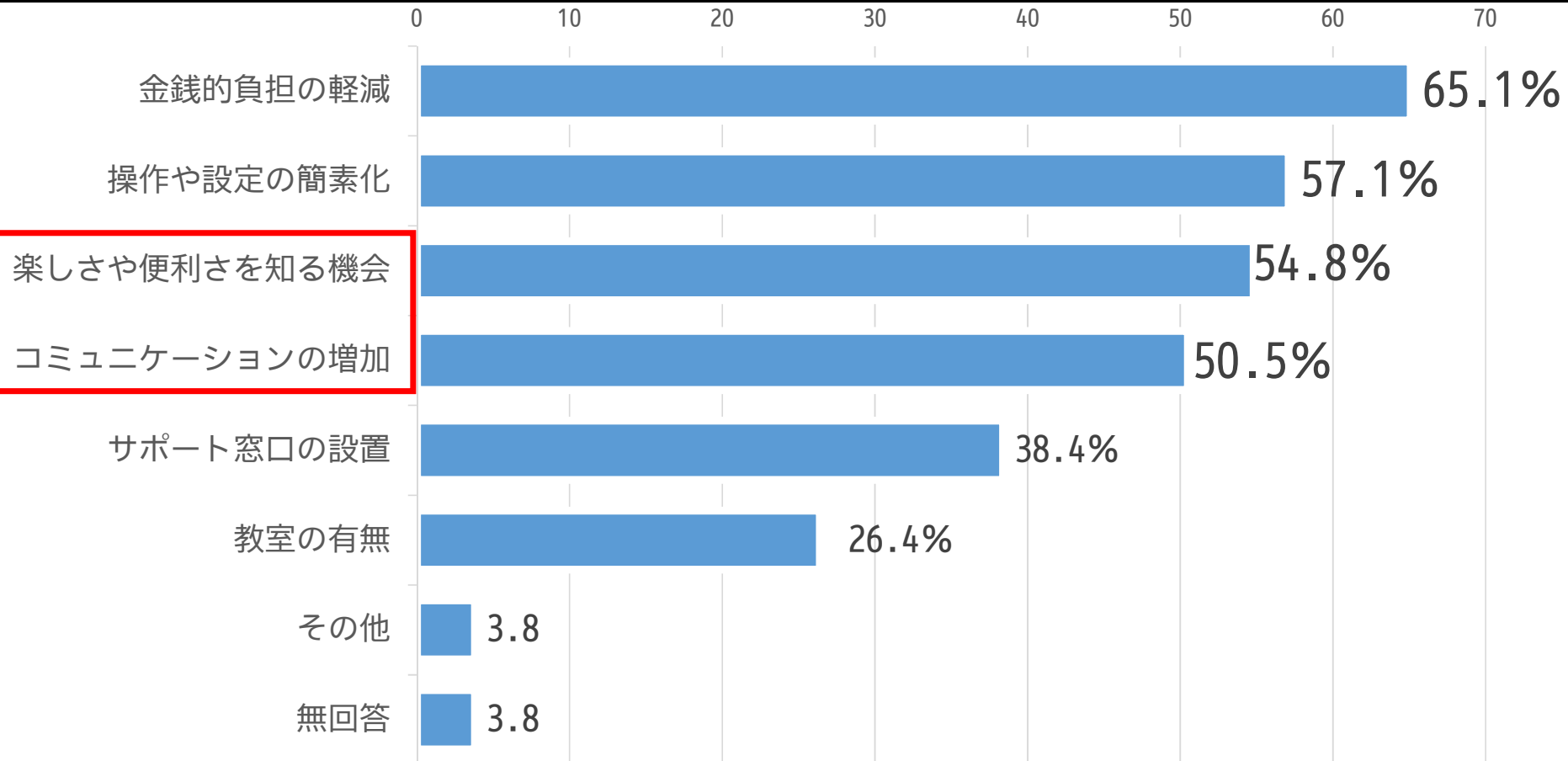
現状2 スマホを利用していない理由



出典：内閣府「情報通信機器の利活用に関する世論調査」
(令和2年度)

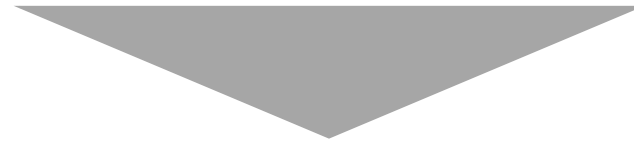
課題

どんなことがあれば利用につながるのか



出典：内閣府「情報通信機器の利活用に関する世論調査」
(令和2年度)

デジタルは生活に必要ない



楽しさや便利さを知る機会の提供

コミュニケーションのきっかけ作り

解決手法の提案

手法 1

若者と高齢者をつなげるツール

手法 2

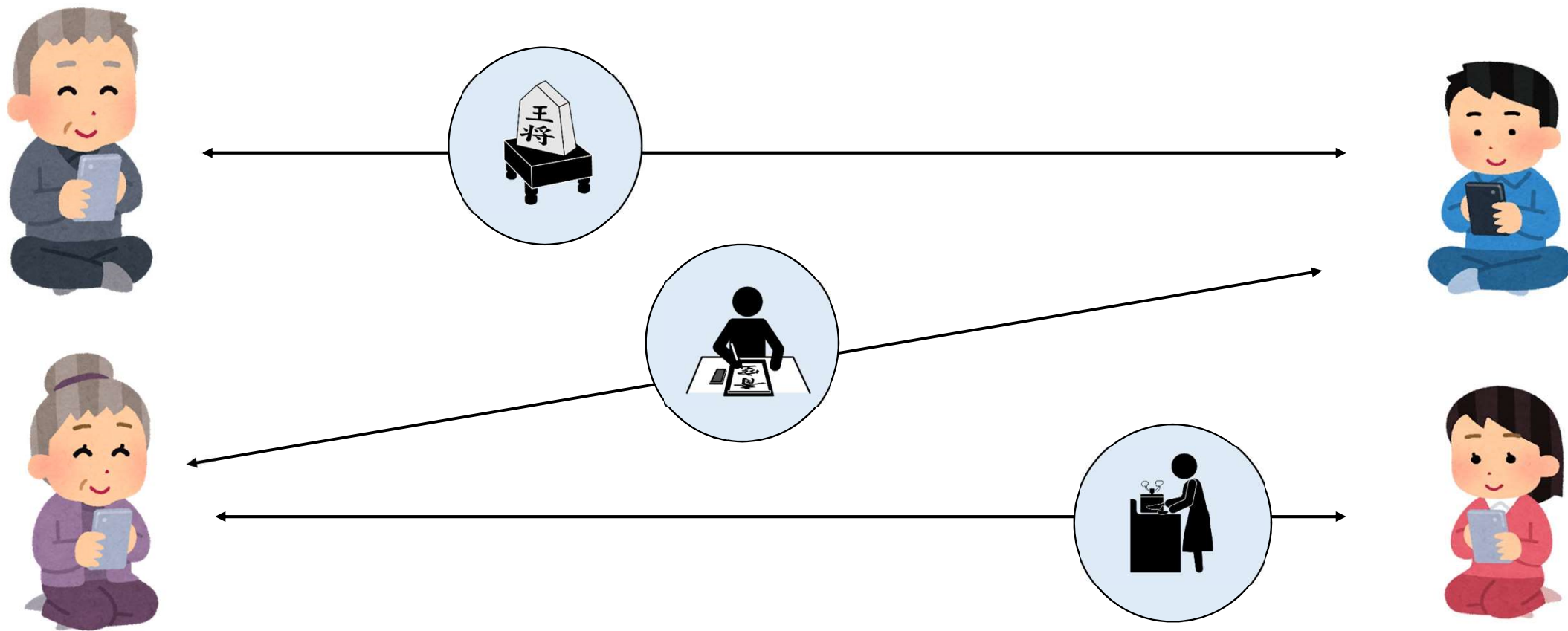
バーチャル体験

手法1

【そうだ 出来るを、教えよう。】

高齢者の『出来る』を『やってみたい』若者へ

若者の『知っている』を『出来るようになりたい』高齢者へ



解決手法 1 の活用案

【高齢者の趣味共有】 高齢者が先生となる料理教室

地元食材や郷土料理を
これからの世代にも伝えられる。



手法2

【そうだ バーチャル、しよう。】

通常では出来ないあれこれを

バーチャルを使って体験しよう。



【AR（拡張現実）】

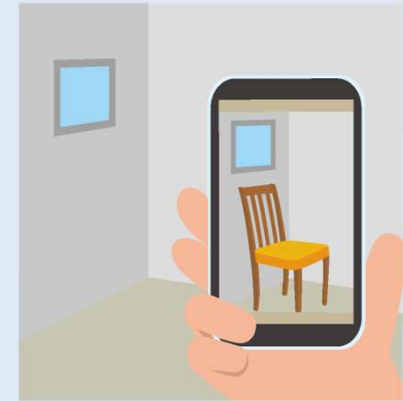


【VR（仮想現実）】

解決手法2の活用（案）

AR + アルバム

アルバム写真にカメラをかざすと写真が動き
孫や家族とのコミュニケーションに



VR + 運動 + アプリ

離れている人と一緒に
VRで景色を共有しながら健康管理
運動の記録も家族と共有



提案を実行することによる効果

効果1 デジタル利用意欲の向上

効果2 コミュニケーション増加



デジタルがもっと身近で生活の一部に！

DXの活用

高齢者のデジタルデバイド解消

楽しく便利な生活
豊かなコミュニケーション

誰一人取り残さないDX広域圏の実現